

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI 川崎戸手		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 1日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2024年 1月 1日		2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1日3クール制となっており、小集団での活動を行っています。	1クラスあたり1~6人クラスで、個々のレベルに合わせたクラス編成を行っています。年々少や年少の方はまずは一人や二人クラスから始めて、様子に応じて5~6人クラスに変更し、徐々に集団に慣れていけるようにしています。	保護者を交えたイベントを実施し、より多くの人数に慣れる機会を設けています。
2	自主性や思考力の育成の為に、お子様だけで話し合う機会を設けています。	お子様同士で相談をして、順番や色を決めたりする機会を設けています。大人に頼らずに考えることや相手に譲ったり譲られる経験を早くから積むことで、自立や円滑なコミュニケーションが行えることが期待されます。	
3	学校体育の内容を取り入れた療育を行っています。	就学に向けて学校体育で行う運動に事前に触れることで、「知っている」という安心感が持てるようにしています。	職員研修により、専門的な知識を身につけていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	川崎戸手教室に男性職員がいないことです。	跳び箱や鉄棒の補助の際、小学生の場合は女性職員では支えきれず危険な場合があります。	各教室の男女のバランスを考えた教室の人員編成を行うことが必要と考えます。
2	個室が少ないため、クールダウンのスペースの確保が難しいことです。	マンションの一室なので間取りを自由に換えられず、運動スペースを広く確保する為に、着替えをする部屋と事務室以外の個室が取れていないという現状です。	着替えやクールダウンが必要な場合は、パーテーションを用いたり着替えスペースを利用しています。
3	トイレの大きさが未就学用ではないことです。	マンションの一室を借りている為、元が大人用の大きさとなっています。	職員が補助に入ったり、1人で座る子ども用に踏み台を置くようにします。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI川崎戸手教室

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 46

回収数 : 32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	2			・のびのび運動できる広さだと思います ・ちょうどいいスペースだと思います	・広々とした空間で子供たちが伸び伸びと運動できるよう言語も教室環境を保つていく	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	30	1		1	・一人に一人つくまではいきませんが十分な配置数だと思います ・いつも目と手も届く範囲にいてくださっているので安心しています	・児童の安心安全を最優先に今後もサービスを提供していく	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31				1	・先生方のポスターや日程表などはロッカー側の方に貼ってあると保護者も把握しやすいと感じました	・保護者が見えやすいよう張り紙等を配置していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32					・いつもきれいに保たれています ・気が散ってしまうこともなく集中できています ・気持ちよく活動できる空間だと思います	・開放的な空間をこれからも提供できるように整理整頓を徹底していく
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	2	1	1	・職員の異動は仕方ないとは思う。引継ぎはあると思うが1年間としてしっかり見てくれるとありがたい ・一人一人の特性を見てあらゆる視点を取り入れた支援を受けていると思います	・保護者、子供たちに安心してもらえるようなサービスを提供していく	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30				2	・プログラムに沿った内容です	・今後も相違がないよう実施していく
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31				1	・十分にそう思います	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31				1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31			1		・季節のイベントを取り入れたり幼稚園の行事に合わせた活動をしてくださるのでありがたいと思っています ・いろいろな工夫をさせていただいております	・様々なプログラムを取り入れ、子供たちが常に新しいことにチャレンジできるような活動を提供していく
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	14	9			
保 護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31				1	・細かく説明していただいております	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32					・支援計画を示しながら一つ一つ丁寧に説明していただいております	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1	3	9		・ほかの支援プログラムの情報提供はない	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	32						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	1			1	・もう少し面談できる機会があると嬉しい ・都度フィードバックの際に助言をしていただいております	・可能な限り、保護者の不安を取り除けるよう面談の機会を設定していく

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	13	11	・そのようなイベントがあればぜひ参加してみたい
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1		5	・自治体のほかの子育て支援プログラムの周知等があると嬉しい ・その時の状況に合わせて迅速かつ適切に対応していただいております
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32				・毎回フィードバックがありきっちりとしている
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27			5	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28			4	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26			6	・定期的に実施されております ・今後も防災訓練を定期的に行っています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32				・運動なのでけがが増えやすいと思いますが、今まで大きなけがはありません ・子供たちの安全を第一に今後もサービスを提供していく
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			10	・今のところ事故等は起きたことがない ・発生したことはありませんが信頼しております
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	1	1		・先生方にも慣れ一人でも過ごせる日が増えてきて安心しています ・安心して通所しております ・先生が短期間で変わってしまうことがあり子供が慣れた頃なので残念です
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	1	1	1	・先生皆様がやさしく活動も楽しい。 ・ほかの園のお友達もできて嬉しいよう で楽しく通わせていただいています。 ・事業所と相談し対策を打ち経過を観察中 ・小集団に変更してよかったです ・安心して通所しております ・親が見学できる日か子供に毎回聞かれます。親が見学するのは嬉しそうにしています
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1		1	・満足しています ・座ることが苦手でご迷惑をおかけしておりますがいつも優しく対応していただき感謝しております ・大変満足しております ・気分のムラはありますが行けば楽しく取り組んでいます

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI川崎戸手教室		公表日		2026年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・ 体躯の大きい子がいるときは、チームで分け療育サービスを行うようにしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・ 朝のミーティング等で全体の配置を決めている	・ シフト制のため指導員の人数が少ないと思う日がある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		・ 出入口が自動ドア式でドアのカギの位置が低く、児童が触れてしまう ・ 洗面台やトイレが大人サイズしかないため、状況に応じて職員が補助を行なう	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・ 用具の整理整頓を心がけ、どこに何を置いているかすぐに分かるようにしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	・ 月1~2回程のペースで全体会議を行う工夫をしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・ 創作活動等内容に関してチームで話し合いで決定している		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・毎週同じ担当者にならないように分担している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・その日の活動の様子以外にも、園での様子等もヒアリングするように意識している		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		・年に数回、イベントなどで設けている
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		・月2回程インスタグラムを更新している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI 川崎戸手		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 1日		～ 2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2025年 1月 1日		～ 2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1日3クール制となっており、小集団での活動を行っています。	1クラスあたり4～6人クラスで、個々のレベルに合わせたクラス編成を行っています。低学年の方はまずは4人程度のクラスから始めて、様子に応じて5～6人クラスに変更し、徐々に集団に慣れていけるようにしています。	保護者を交えたイベントを実施し、より多くの人数に慣れる機会を設けています。
2	自主性や思考力の育成の為に、お子様だけで話し合う機会を設けています。	お子様同士で相談をして、翌月の好きな運動や遊び、ルールを決めたりする機会を設けています。大人に頼らずに考えることや相手に譲ったり譲られる経験を早くから積むことで、自立や円滑なコミュニケーションが行えることが期待されます。	
3	学校体育の内容を取り入れた療育を行っています。	学校体育で行う運動に触れる中で、学校では苦手意識のある内容でも、TAKUMIでなら「できた」という自信が持てるように内容を工夫しています。	職員研修により、専門的な知識を身につけていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	シフト制のため男性職員が不在の時があります。	跳び箱や鉄棒の補助の際、小学生の場合は女性職員では支えきれず危険な場合があります。	本社が各教室の男女のバランスを考えた採用を行っていくことが必要となります。また、リスクマネジメントとして2名以上でのサポートを行っています。
2	個室が少ないため、クールダウンのスペースの確保が難しいことです。	マンションの一室なので間取りを自由に換えられず、運動スペースを広く確保する為に、着替えをする部屋と事務室以外の個室が取れていないという現状です。	着替えやクールダウンが必要な場合は、パーテーションを用いたり見学する時間を設けています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI川崎戸手教室

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 43

回収数 : 29

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	3	1			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28			1	・手厚い指導が受けられる人員配置がされていると思います	・今後も保護者様に安心していただけるよう努める
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	1			・常に清潔で安全な環境が保たれていると思います	・継続して清潔な空間を保てるよう努める
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2		1	・毎回フィードバックで子供の特性を理解して対応していただけていると感じています ・子供の性格や特性について深く理解し、レベルにあった課題設定をしてくれている	・今後もクラスごとのレベルを考慮し運動提供をしていく
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	2		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	2		2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26			3		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1		1	・様々な種類の活動をされていて身につけられることが多いと感じています	・今後も多角的に運動提供を行っていく
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	11	8	・特になくていいと思います	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1	1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	1		2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	3	7	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	27	2			・フィードバックでその時々の問題をすぐに共有できるので安心感があります	・継続して不安や悩みを少しでも解消できるように情報共有をしていく
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	3			・保護者の抱える不安や悩みに寄り添い適切なアドバイスをしている	・様々な視点から児童、保護者へのアドバイスを行っていく
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	6	13	・親子参加型のイベントが時々あるのでそれで十分だと思います ・見学時に保護者同士で交流できています	・季節イベント以外にも行事等で保護者同士の交流も持てるよう検討をしていく

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29				・日々のフィードバックにおいて子供の様子や今後の課題等を明確に伝えてくれる	・支援計画に基づいた課題点を改善できるよう支援していく
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	3		6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27			2	・避難訓練の様子をインスタなどで内容を知れたらと思います	・継続して防災訓練の様子をSNSで発信していく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1	1	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2		6	・そのような状況になったことがないためわかりません	・事故がないようリスクマネジメントを徹底して運動提供を行っていく
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29				・緊張せずに自分を出せる場であると感ぜられます	・チャレンジ精神を持てるよう前向きな声かけ等の支援を行っていく
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	6	2		・楽しんで通所しています ・通うのをとっても楽しんでます ・家ではなかなか継続して取り組めない苦手な分野もTAKUMIに行くと楽しみながら真剣に挑戦することができている	・継続してTAKUMIでワクワクドキドキできるような楽しい活動を提供していく
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	2			・手厚く指導していただき良いところやもっと伸ばした方がいいところを把握して接していただいており大変満足しています	・安心安全な活動提供をモットーに日々通所できるよう心がける

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI川崎戸手教室		公表日		2026年 2月 28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	3		・人材補填	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		・出入口のドアの鍵が足元にあるため児童が鍵を開けられてしまう ・周囲が気になる特性の利用者がいるが用具が丸見えの状態、今後工夫が必要	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2		・洗面台やトイレが大人サイズしかないため、状況に応じて職員が補助を行なう ・小学生高学年にとっては狭い空間かもしれない	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1			
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		・話し合いの時間を毎月確保していく	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・クラスごと種目に合うような支援の工夫をしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	・創作活動等内容に関してチームで話し合い で決定している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・毎日ミーティングを行いデータに残している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	・保護者の方から面談やフィードバックを通してお知らせいただくようにしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			